

## みなとオアシス防災ネットワーク

### みなとオアシスとは

「みなとオアシス」とは、地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取り組みが継続的に行われる施設として、港湾管理者などからの申請に基づき、国土交通省港湾局長が登録するものです。令和3年7月31日現在、全国で151箇所の「みなとオアシス」が登録されています。

### みなとオアシスの機能

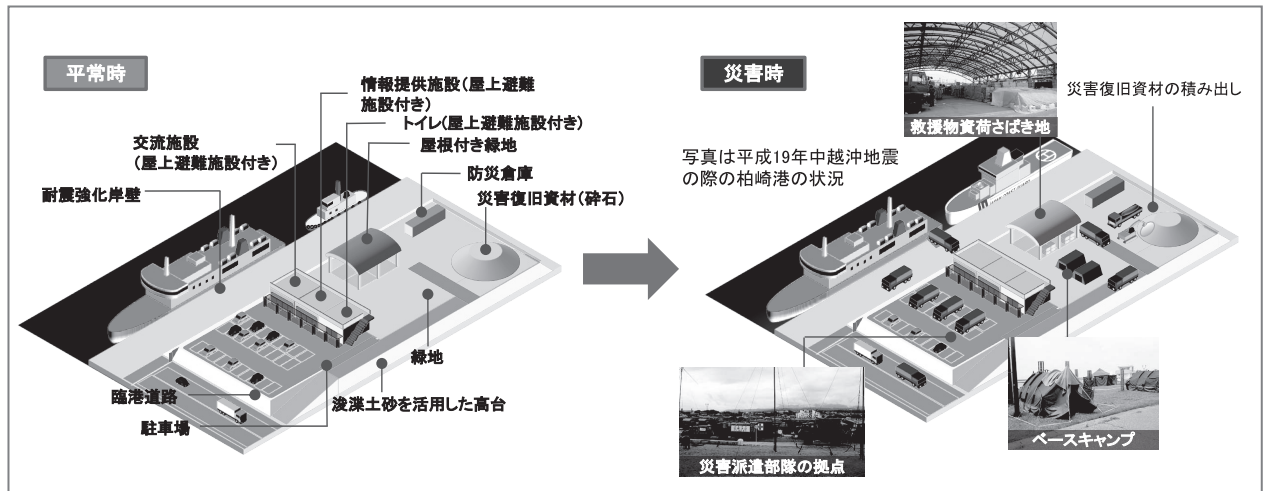
「みなとオアシス」は、交流・休憩機能、情報提供機能、災害支援機能、物販や飲食等の商業機能を有する施設から構成されており、地域住民や観光客、クルーズ旅客などが交流するイベントの開催や、地域の観光や交通に関する情報提供、災害時の地域住民などへの支援、地域の物産品の販売などが行われています。「みなとオアシス」の一部では災害を想定した訓練なども実施されています。

### みなとオアシス防災ネットワークとは

阪神淡路大震災以降、大規模災害発生時の被災地救援に港湾を活用する事例が増加しており、特に近年、生活支援の拠点としての重要性が高まっています。

頻発化・激甚化する自然災害などに対応するため、地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化の拠点である「みなとオアシス」を活用しつつ、一定の条件を満たす「みなとオアシス」を災害発生時に復旧・復興の拠点として機能する「災害対応型みなとオアシス」として位置付けるとともに、これらをネットワーク化することにより、広域的な災害に対応できるようにするものが、「みなとオアシス防災ネットワーク」です。

現在、防災訓練などを通じた課題整理を進めているところであり、この結果を踏まえて、必要な支援策などを検討してまいります。



「災害対応型みなとオアシス」のイメージ



「みなとオアシス防災ネットワーク」のイメージ



「みなとオアシス」を活用した防災訓練 (大磯港)